

# 中央地区学校教育の重点

## 1 学校教育目標を具現する 教育課程の編成と実施

### (1) 創意工夫を生かした特色ある教育活動

◎教育課程編成のねらいを家庭や地域と共有し、**組織的かつ計画的**に全教育活動の質の向上を図る。(カリキュラム・マネジメント)

- ・学校として、教科等横断的な視点で育成を目指す資質・能力を明確にする。
- ・各校務分掌の取組状況を検証し、改善策を教育活動に反映させる。

### (2) 共生社会の形成に向けた特別支援教育

◎**子どもの困難さに対応し、互いの個性を認め合い、支え合う関係づくり**に努める。

- ・通常の学級では、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れるなどして、必要な指導や支援を行う。
- ・特別支援学級では、一人一人の成長や変容を把握して、実態に応じた特別の教育課程を編成する。

### (3) 自助、共助、公助の実現を目指す安全教育

◎情報を正しく判断し**自他の安全を確保**することができるよう、教育活動全体を通じて取り組む。

- ・地域や学校の実情に応じて、各教科等の安全に関する内容のつながりを整理する。
- ・実効性のある防犯・交通安全・防災等の取組を、保護者や地域住民、関係機関の協力を得て行う。

### (4) 育ちや学びをつなぐ学校間・校種間連携

◎子どもに対する**一貫性のある教育**を推進する。

- ・保育者と小学校教員が、幼児期の子どもの成長を共有し、スタートカリキュラムに生かす。
- ・伸ばしたい子どものよさに着目し、小・中学校が連携して取り組む内容を精選する。

## 2 思いやりの心や たくましい心と体の育成

### (1) 心のかよう生徒指導

◎自己指導能力を育成し、全校体制で不登校・いじめ等の**未然防止**に取り組む。

- ・子どもを多面的・総合的に理解し、短期的な目標を共有するなどして、組織的に支援する。
- ・自校における生徒指導の重点事項を、日常の授業づくりや学級づくりに反映させる。

### (2) 心を育てるふるさと教育

◎地域に根ざしたキャリア教育の視点を踏まえ、**体験的で総合的な教育活動の充実**を図る。

- ・各活動での学びを自らの生き方につなげて考える手立てとして、キャリアノート等を活用する。
- ・子どもが体験活動や各教科等での学びを相互に関連付け、ふるさとのよさを捉え直す場を設定する。

### (3) 心に響く道徳教育

◎**教育活動相互の関連を明確**にした計画のもと、豊かな体験や日常的な指導などを通して道徳教育の充実を図る。

◎**道徳的価値に向き合い、自己を深く見つめる**ことができる授業を展開する。

- ・重点化した内容項目について、別葉を活用するなど、手立てを明確にして指導する。
- ・発問を吟味し、道徳的価値に対する子どもの多様な感じ方や考え方を引き出す。

### (4) 心と体の健康づくり

◎**体育・健康に関する指導を、全校体制で計画的、継続的**に行う。

- ・運動の楽しさや喜びを味わうことができる授業づくりに努め、運動習慣の確立につなげる。
- ・心身の健康について、各教科等と関連させたり、教職員等の専門性を生かしたりして指導する。

### 3 資質・能力を育む各教科等の指導

#### (1) 確かな学力の定着を図る指導

- ◎単元や題材、授業における**指導のねらいを明確**にする。
  - ◎基礎的な知識及び技能の**確実な習得**を図る。
  - ◎知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育み、**主体的に学習に取り組む態度**を養う。
- ・子どもの学びに照らして学習指導要領の目標及び内容の理解を深める。
  - ・対話や協働を通じて、子どもが問題を発見し解決していく過程を重視する。

#### (2) 個に応じた指導

- ◎子どもの**実態に応じた指導方法の工夫改善**を進める。
- ・一人一人の学ぶ速さや学びの進め方などに適した教材・教具を提供し、学習状況に応じて指導する。
  - ・子どもが自分にふさわしい方法で学習を進められるよう、学習形態等を柔軟に取り入れる。
  - ・学習環境を整え、子どもが自由な発想で日常的に\*ICTを活用できるようにする。

#### (3) 一人一人の学ぶ力を伸ばす評価

- ◎適切に設定した評価規準に基づいて、学習の実現状況を把握し、**指導の改善**に生かす。
- ・子どもが学びの進め方について試行錯誤し、自らの学習を調整する場を設定する。
  - ・問題解決の過程で子どものつまずきや伸びを捉え、発問や指名などの指導の手立てを見直す。

\* Information and Communication Technology  
情報通信技術

### 4 教職員一人一人の力量と 学校の組織力の向上を図る研修

#### (1) 資質能力を高める自己研修

- ◎研修課題を**自ら設定**し、具体的な方法を明確にして研修に努める。
- ・「秋田県教職キャリア指標」のキャリアステージと校務分掌に応じて、自律的に学ぶ。
  - ・研修履歴を活用した管理職等との対話を通して、学びを深める分野を見いだす。

#### (2) 自校の教育課題の解決を図る校内研修

- ◎学習指導要領の趣旨及び内容について**実践を通じた研修**を積み重ねる。
- ・多様な専門性や経験をもつ教職員が、互いに学び合うことで同僚性を高める。
  - ・協働して研修に取り組む体制を構築し、一人一人の参画する意識を高める。

#### (3) 社会の変化に即応した研修

- ◎現代的な教育課題について、地域・関係機関等と連携して研修を進め、**自校の教育活動の充実**に努める。
- ・子どもや学校、地域の実態に応じて、専門性をもつ人材を活用する。
  - ・\*E S Dの視点を踏まえ、自校の取組に応じて研修課題を焦点化する。

\* Education for Sustainable Development  
持続可能な社会の創り手を育成する教育

◎：重点事項

管内各校の教育活動において、特に充実を図りたい事項です。充実に向けた手掛かりとなる内容は、**太字**で示しています。

・：具体的実践例

重点事項の**太字**部分を具現している事例や手立てを取り上げています。